



平成23年12月27日に行われた第9回べっぷ子ども市議会

「平成22年度一般会計・各特別会計決算を認定」

CONTENTS

P2~P4

議決内容 ほか

P5

議案質疑「指定管理者の指定について」

「体育施設整備に要する経費の追加について」

P6~P10

一般質問（12人が市政を問う）ほか

P11~P12

第9回べっぷ子ども市議会、スナップ集

議決内容

12月定例会は、初日に決算特別委員会委員長より継続審査中の平成22年度一般会計・各特別会計の決算の審査報告がなされ、討論、採決の結果、認定されました。この後、補正予算や条例案件など18件の議案が上程され、市長の提案理由の説明、議案質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、最終日に所管の各委員会より審査の経過と結果について報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決されました。

継続審査

◎平成22年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成22年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について
(認定)

去る9月定例会において継続審査とした「議第72号 平成22年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成22年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について」は、3日間の日程で、各所管委員会別に審査を実施しました。委員からは、厳しい財政状況が予想される中、広域市町村圏事務組合の



決算特別委員会の審査風景

負担金の増加、扶助費の増加、市民ニーズの多様ななど安定した財源確保が急務であり、それに加え東日本大震災のもたらす地方への影響も考慮しなければならぬ。また一方で、後年度に負担を残す安易な地方債発行を増大させないことも大切であるが、事業の緊急性、事業効果を見極めながら、恒久的な住民福祉の向上につながる事業については、財政見通しを精査する中で運用を図っていくことも必要ではないかとの意見等が述べられました。今後も、地方自治体においては、更なる自主性が求められてくると思われるため、引き続き行政の基本である「市民福祉の増進」を念頭に置き、市政発展のため一層の努力・研さんを行うよう求めました。

補正予算

◎平成23年度別府市一般会計補正予算(原案可決)

今回の補正額は、5億9890万円で、補正後の予算額は、総額457億2080万円となります。

その主な内容として、**民生費**では、日中一時支援事業や日常生活用具給付費の増による地域生活支援に要する経費及び自立支援医療費や居宅介護給付費等の増による自立支援給付に要する経費並びに児童扶養手当支給に要する経費の追加額などを計上しています。

土木費では、東日本大震災の発生により、国に

12月定例会 会期の経過

11月28日	議会運営委員会
30日	本会議(継続審査中の議第72号に対する委員長報告、討論、表決、議案上程、提案理由の説明)
12月5日	本会議(議案質疑、委員会付託)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問)、議会運営委員会
8日	本会議(一般質問)、議会報・ホームページ委員会
9日	各常任委員会
14日	本会議(各委員長報告、討論、表決)、議会運営委員会

において執行が留保されておりました公共事業等の5%相当分について、10月7日付で解除がなされました。これにより、社会資本整備総合交付金が追加配分されることとなったため、河内田別府線道路整備事業費の追加額を計上するとともに併せて繰越明許費を計上しています。

消防費では、東日本大震災により、公務中に尊い命を落とされた消防団員の方々への公務災害補償に伴う、消防団員等公務災害補償責任共済契約

に係る掛金の追加額を計上しています。

教育費では、中部地区体育館及び南部地区体育館の屋根改修工費を計上しています。

災害復旧費では、台風15号などにより被害を受けた農地農業用施設及び市道等について災害復旧工費を計上しています。また、平成23年度末で

指定管理期間が満了いたします「別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場ほか1施設」及び旧野口原グループ9施設と旧実相寺グループ6施設を統合した「公園テニスコートほか14施設」並びに新たに指定管理を行う「地獄蒸し工房鉄輪」について、平成24年度以降の基本協定を締結するため、指定管理料の債務負担行為を計上しています。

◎平成23年度別府市国民健康保険・競輪・公共下水道・介護保険・後期高齢者医療特別会計補正予算（原案可決）

今回の補正額は、59

7万円の減で、補正後の特別会計予算の総額は419億9328万5千円となります。

その主な内容は、国民健康保険事業ほか、4特別会計における共済費の増と人事異動に伴う所要の調整となっております。

条例の改正

◎公益的法人等への職員
の派遣等に関する条例の
一部改正について

（原案可決）

別府市土地開発公社の解散に伴い、条例に定める職員を派遣することができる団体から同公社を削るため、条例を改正するものです。

◎別府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について、及び別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

（原案可決）

障害者自立支援法の一部が改正され、条例が引用する条項の繰り下げ等

に伴い、条例を改正するものです。

◎別府市立学校職員の給与等に関する条例等の一部改正について

（原案可決）

学校教育法の規定により、市立別府商業高等学校に副校長、主幹教諭及び指導教諭を置くことができるようにすることができるとともに、条例を改正するものです。

◎別府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について（原案可決）

（原案可決）

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部が改正され、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に死亡した者の死亡当時における兄弟姉妹が加えられたことに伴い、条例を改正するものです。

◎別府市山水苑地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

（原案可決）

山水苑地区地区計画の

変更に伴い、変更後の計画の内容により建築物等の制限をするため、条例を改正するものです。

◎別府市職員の給与に関する条例の一部改正について

（原案可決）

人事院の勧告及び大分県人事委員会の勧告にかんがみ、職員の給料月額を平均0.28パーセント引き下げる改定を行うこと並びに給与水準を見直し、一部の職員の職務の級及び号給の切替えをすることに伴い、条例を改正するものです。

その他

◎指定管理者の指定について

（計4件について原案可決）

◇公園テニスコートほか14施設

◇弓道場及びアーチェリ

平成24年 第1回 定例会の日程

次回定例会は2月29日（水）から3月26日（月）を予定しています。

（日程は変更することがあります。）



12月 定例会風景

1場
◇別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場及び別府市神楽女湖駐車場
◇地獄蒸し工房鉄輪

◎市長専決処分について

（承認）

消防団員に対する費用弁償の見直しに伴い、別府市消防団条例の一部を改正する条例を市長において専決処分するもので

議員提出議案

議員より意見書8件が提出され、6件が可決されました。可決された意見書の要旨は次のとおりで、直ちに衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、その他関係各大臣へ送付されました。

◎郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書

(原案可決)

全国2万4千局のネットワークは国民共有の財産であり、全国津々浦々の郵便局で受けられる郵便・貯金・保険のユニバーサルサービスは国民生活に必要不可欠なライフラインである。それを今後も維持し、地域住民にとって、さらに便利で利用しやすい郵便局をつくるためにも、一刻も早い郵政改革法案の成立を求める。

◎漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税に関する意見書

(原案可決)

大分県民又別府市民に對

する国産水産物を安定供給し続けるためには、これに不可欠の前提となる漁業者の経営安定を維持するため、漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置について恒久化することを強く要望する。

◎国民の権利を支える行政サービスの拡充を求める意見書

(原案可決)

国民・住民の生活を保障するための行政サービス等の拡充に向け、以下の事項の実現を強く求める。

①地方に犠牲を強いる「地域主権改革」は行わないこと。

②行政サービスの低下を招く国の地方出先機関を統廃合しないこと。

◎鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書

(原案可決)

鳥獣被害防止の充実を図るため、以下の事項を速やかに実施されるよう強く要

望する。

①地方自治体が行う被害防止施策に対する財政支援を充実すること。

②現場では有害鳥獣対策についての専門家が不足していることから、専門的な知識や経験に立脚した人材の養成及び支援策を講じること。

③有害鳥獣の正確な生息数の把握ができる調査方法を確立すること。

④効果的な野生鳥獣被害防止対策を構築すること。

◎視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書

(原案可決)

地上デジタルテレビ完全移行により、視覚障がい者からテレビを遠ざけないため、以下の事項を速やかに実施されるよう強く要望する。

①携帯用ラジオに、テレビの地上デジタル放送の受信機能を付加し、従来通りテ

レビ放送が聴けるようにすること。

②受信機や録画機のリモコンの全ての機能が、音声ガイドを手がかりに操作できるテレビの開発を推進する施策を講じるなど、視覚障がい者の使いやすさを最大限考慮すること。

③解説放送、ニュースなどのテロップ・字幕の読み上げを大幅に増やし、テレビ放送における情報バリアをなくすこと。

◎原発政策の見直しを求める意見書

(原案可決)

国のエネルギー政策を抜本的に見直し、早期に原子力利用からの脱却を含めた検討を強く求め、以下の対策を取ることを要望する。

①運転中の原子炉については、福島第1原発事故の収束と検証、それに基づく安全対策の完了を経て、地元住民の同意を得るまで再稼働させないこと。

②事故検証は、政府の事故調査・検証委員会及び国会

の事故調査委員会の最終報告が最低条件であり、実質的な検証を尽くすこと。

③安全対策は安全設計審査指針・耐震設計審査指針などの見直し、耐震バックチェックの見直し、及び原子力規制行政の抜本的再編を最低条件とすること。

④「地元」は立地自治体のみでなく、「防災対策を重点的に充実すべき範囲（E P Z）」見直しなどを踏まえ、半径50キロ圏内を目的に近隣自治体も含めて広く定義し、住民への説明やその意見の反映を実質的に保障すること。

◎任意のワクチン接種に関する早期に国の制度確立を求める意見書

(否決)

◎妊婦健康診査について国の財政支援継続を求める意見書

(否決)



議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

12月5日に4名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

指定管理者の指定について (地獄蒸し工房鉄輪)

問 当初、運営は行政の直営であったが、今の時期に指定管理者を指定した理由と管理期間が3年ではなく5年にした理由を説明願いたい。

答 平成22年3月28日にオープンし、当初から指定管理者の指定に向けて、22年度の実績を集約、今年度に入り所定の手続きをとり、2者申請の中から選定委員会で指定管理者を決定しました。また、この指定管理者が、ノウハウの改善等により優れたサービスの提供、雇用の安定化による人材確保と安定した管理運営が可能であるという判断のもと5年間の指定期間としました。

問 指定管理導入施設における行政の責任が、今後指摘されると思うが、

十分考えながら行う必要性がある。また、民間の地獄がまと市営の地獄がまとの競合する整合性を考えながらやっていく必要があると思うが、お考えを説明願いたい。

答 市の施設である以上、その管理責任は当然行政側にあると考えています。また指定管理者が提供するサービスの所定の水準を充足しない場合には、サービスの水準の改善を求めるとともにサービスが安定的・継続的に提供されることも重要であり、市と指定管理者の円滑な共同による公共サービスの質の向上とコスト削減が不可欠であると考えます。

問 地元の方の協力なしには運営できないことから、公募については、余り納得はしていないが、指定管理の候補者からの提案があったとすれば、どのような提案があった

のかお聞かせ願いたい。

答 具体的な事業の提案はなかったが、事業計画書においては、交流室の利用と広場での催事の開催等により地域振興を図りたい。また、特定非営利活動法人であることから、収入増加による利益が生じた場合には、非営利事業の鉄輪温泉地区のまちづくり事業に運用し、別府観光の浮揚に寄与できるようにしたいという趣旨の計画があります。

体育施設整備に要する経費の追加について

問 各種体育館の整備工事費の内容及び今回補正で計上した理由を説明願いたい。

答 中部地区体育館と南部地区体育館の屋根の雨漏りを改修する工事費であり、今まで部分修理を幾度か重ねてきたが、原

因箇所が特定できず、今年度は特に雨漏りが激しくなったことから、来年の梅雨、台風等に対応するため、早期着工をということで計上しました。

問 個人の共同住宅にしても年次計画をたて、メンテナンスを行うが、計画があがっていない。また、南部地区公民館3階の体育館にエレベーター設置の要望が住民からでているが、新年度での予算要求について説明願いたい。

答 施設改修等については年次計画で、所管課のみでなく、関係各課と連携を密にとり、正確、迅速に対応するとともに、今後十分検討し、努力してまいりたいと考えています。またエレベーター設置については、現在施設の耐震性を含め構造計算等の調査・検討をしており、今後も努力してまいりたいと考えています。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

12月6日から8日の3日間、12名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次のとおりです。

乳幼児インフルエンザ 予防接種助成

公明党
荒金 卓雄 議員

問 子育て家庭にとって、インフルエンザ予防接種の経済的負担は大きいので、公費助成を検討してほしい。

答 通常の予防接種の発症予防効果は90%程度だが、インフルエンザ予防接種は60%程で、更に小児では有効率30%程と効果が低い。また、予防接種法上の位置付けがない任意接種は、健康被害が発生した場合に救済措置が十分でないなど、公費助成をするには大きな課題があります。

問 乳幼児の感染・重症化の予防だけではなく、保育所、幼稚園、学校における集団発生を予防する効果も大きい。佐世保市や台東区など、公費助成を実施している自治体も出ていますので、前向きに検討してほしい。

答 国の動向や他市の状況等を注視したい。なお、予防接種のほかに、栄養バラ

ンスの良い食生活、外から帰宅した時の手洗い・うがい、咳エチケットを守るなどの日頃の取り組みも重要です。

問 別府公園などで、飼い犬のフンを放置する「犬のフン害」を嘆く市民の声を聞くが対策は。

答 市報・ケーブルテレビなどで啓発活動を行ったり、公園内のフン放置禁止の看板設置や「イエローカード運動」でマナーの悪い飼い主に注意を促しています。

問 市民憲章の「美しい町をつくりましょう」を前面に出して、飼い主のマナー改善と市民意識の高揚を図るため「フン害防止条例」を制定してはどうか。

答 現在「別府市環境保全条例」に、愛玩動物の飼育者に生活環境を害さないとの義務規定はあるが、違反者の特定が困難な点に課題があります。



観光港多目的広場の 使用について

自民党議員団
吉富英三郎 議員

問 10月9日に行われた音楽イベントが、地域周辺住民にとって「騒音と同じに聞こえる」との苦情が市役所に多数寄せられたと聞いた。音楽イベント等を否定するものではないが、近くには総合病院や医院もある。日曜日の夜9時前まで大音量を流すのは如何なものか。

答 多目的広場の使用許可を出す行政側として今後どのように対処していくのか。

答 周辺住民から数多く苦情をいただき、迷惑をおか



イベント等の開催が見込まれる観光港多目的広場

市民球場の活用について

公明党
市原 隆生 議員

問 市民球場の2期工事に盛り込まれているナイター照明設備と防球ネットの整備について確認をしたい。

答 3月11日の東日本大震災の影響もあり、パークゴルフ場や散策の杜の整備について先行して行うこととし、その後、社会情勢を見ながら球場の2期工事を推進したいと考えています。

問 要するに、完成の時期については全くの未定ということだと思う。現状のまま活用できるということ、



市民球場の整備と更なる活用を

少年野球の大会に県外からも参加していただいて、九州大会など開催できないか。昨年は、九州各県持ち回りの「王貞治杯」が市民球場と実相寺球場で開催され、選手である子どもたちに加え、多くの保護者が別府に宿泊していただいている。甲子園球場と同程度の広さを持ち、バッターボックスに立つときには名前をアナウンスしてくれる。そして大変きれいな球場であることから、少年球児にとっても憧れの球場となっている。例えば「稲尾杯」や「油屋熊八杯」などといったネーミングで野球少年たちの夢を育て、交流が深められる大会を毎年固定して実施してはどうか。

答 別府市独自の少年野球九州大会の新たな立ち上げについては、関係団体の助言もいただきながら協力を要請し、前向きに取り組んでいきたいと思えます。

ゆめタウン 立地協定書の 修正協議を

公明党
堀本 博行 議員

問 協定書を改めて確認すると、第12条には、「市及び会社は信義に従い誠実にこの協定を履行し、この協定書に定めのない事項について疑義があるときは、その都度協議のうえ決定するものとする」とある。実質的に不可能なイズミとの立地協定書の主な項目「エレベーター、またはエスカレーターを備えた歩道橋の設置」「シネマコンプレックス」「循環型バスの運行」等実現不可能は明らかだ。市長の任期も、あと3年少々だ。このままいけば協定書の項目は何もできないまま、浜田市政が終わることを懸念している。また、浜田市政の終わりは、協定書の有名無実の存在になる

ことも心配している。出来ないものを要求し続けるよりも、現実的に何が出来るのかを、イズミ側と早急に協定書の修正協議に入るべきではないか。その先頭に市長が立つべきと思うがどうか。

答 9月議会以降、事務レベルで具体的に検討と調整を始めている。私も出来るだけ早い時期にイズミを訪問して協議に入りたいと思っています。

部活動のバスへの 補助と国保税

日本共産党議員団
猿渡 久子 議員

問 部活動のマイクロバスでの相次ぐ死亡事故を受け、県教育委員会は補助制度を設けた。別商でもこのような補助制度が必要では。

答 同様に補助制度を設けるべきだと考えています。県の制度に準じた形で実施できるように十分協議したい。

問 児童虐待事件があり非常に残念で重く受けとめた

い。悲劇をくり返さないために、行政と地域が力を合わせるが大切だと考える。地域の子育てネットワークの核としての児童館の役割をさらに発揮するため児童厚生員の正職員化が必要では。

答 どういう人が適当なのか、現在の人員でできないのか等検討したい。また、地域の再生・まちづくりは行政の重要な課題。子育て支援のあり方・本質は何かという視点から親支援も考えた取り組みを再構築する時期だと考えています。

問 市長の選挙公約である国保税引き下げは、市民の一番切実な要望である。これまで検討したいと答弁してきたが、市長が一般会計からの繰り出しを判断すべき時だと考えるがどうか。

答 累積赤字が3億2千万円残っており、累積赤字の解消と広域化を見通す中で、一般会計からの繰り出しも含め検討したい。

問 埼玉県蕨市では一般会計から毎年約5億円の法定外繰り出しを行い国保税の

負担を抑えている。早く検討の結論を出し引き下げの方針を示すべき。また、高齢者や障がい者のため声をかけながらゴミを収集するふれあい収集を実施すべき。

答 要望もあり、福祉部署との連携を図り実施方針を固め、課題を整理し、取り組んでいきたい。

中心市街地活性化・ 観光誘致

自民党議員団
野上 泰生 議員

問 中心市街地の活性化には、専属で活動する人材によるタウンマネジメント（街全体の経営）の仕組みが必要。その体制を整えて欲しい。歩いて楽しいまちづくり、竹瓦温泉周辺の整備、自転車による近代化遺産巡り、小規模事業者の起業支援等を重点的に進めて欲しい。

答 活性化協議会、商工会議所等と協議して検討します。

問 南部地区の活性化の

テーマとして「生涯現役のまちづくり」を推進してはどうか。年をとっても現役で元気に活動できるように、まちづくりを推進すること、住民も幸せになり、増える一方の社会保障費も抑制できる。そのためには、縦割り型の公共サービス提供の仕組みを見直し、地域単位で提供できるように工夫も必要。

答 少子高齢化に伴い、公共サービスのニーズは高まるが財政状況も厳しさを増す。先進事例等も研究しながら検討したい。

問 外国人旅行者の受入れは、対象となる地域毎に戦略を定めて推進して欲しい。

答 韓国・中国・その他地域等の状況に応じた戦略を策定して誘致に努めたい。

問 お客様の多い韓国市場はもとより、天津からの大型客船の誘致等により北京周辺で別府の知名度が高まることになる。中国北部の市場の開拓は将来の別府観光にとって大切だと思うので積極的にやって欲しい。また、団体客を扱えない小



規模旅館等のためにも外国人の個人旅行者向けの誘致対策も検討して欲しい。

答 状況を見ながら検討したい。

入札問題、住宅リフォーム助成制度

日本共産党議員団

平野 文活 議員

問 市長は選挙前の建設業者の集会で「二度もドスをつきつけた。市役所の仕事はいらぬ」ということで「しょ」と発言した。この意味は何か。

答 裁判中なので答弁はできない。

問 昨年度までは全業者を入札に参加させていたが、それで何か問題があったのか。

答 問題はありませんでした。

問 藤ヶ谷清掃センター建て替えの別府市負担金は平成23年から40年までに135億円も予定されている。ここに行政改革のメスを入れて経費削減の努力をすべきだ。

答 契約したものについての見直しはできないが、その他の分野で経費削減を広域市町村圏事務組合へ要請しています。

問 見直し中の防災計画では原発事故も想定した対策をすべきだ。

答 市独自の対策は難しく、県や他市町村とも連携を図りながら対応したい。

問 選挙前の3月議会では、地元業者の仕事確保のため「住宅リフォーム助成制

度の導入に向けて積極的に検討する」と答弁したが、来年度予算で実現するのか。

答 検討中です。

教育行政について

市民クラブ

加藤

信康 議員

問 別府商業高校の県立移管は別商を含めた3校統合の方向で進んでいるとの事だが、統合されれば、羽室台高校や別商の跡地利用について市民の関心は高い。また、来年の新中学生から進路先の状況が変わることとなり早期決定が望まれる。いつ頃発表できるのか。

答 早急に出来るよう協議を進めたい。

問 市立図書館について、新設計画が白紙になった中で、どう充実させていくのか。

答 現在、蔵書スペースや閲覧スペースで3・4階のサザンクロス部分や1階の南部出張所部分の一部をど

の程度図書館として活用できるかについて、関係課と協議している。また、駐車場についても近隣の民間駐車場の借り上げで対応できるように協議中である。今年度、児童館における貸し出し文庫を創設した。今後、インターネット予約の導入やブックポストの設置、移動図書館のコース見直し、祝日開館等についても検討し、充実を図りたい。

問 通常の学級におけるLD（学習障害）やADHD（注意欠陥／多動性障害）などの特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制が十分でない中で、人的支援も含めて今後どういう方針で臨むのか。

答 教育委員会として別府市学校いきいきプラン支援員の増員という方向で支援員の確保に努力して参りたい。また、県に対しても児童生徒支援の加配、特別加配等に向け強く働きかけていきたい。さらに、教員及び支援員に対しても専門的に実践的な研修を計画的に行い、より効果的な支援に結びつけて参りたい。

中央公民館の 今後の方針について

自民党議員団
山本 一成 議員

問 中央公民館はどのような方針でリニューアルをしていく予定か。

答 教育委員会としては、文化的な価値を損なわない事を前提に、安全性確保のための耐震補強を行ったうえで、建設当時の姿に復元できればと考えている。平成24年度に耐震補強計画の策定、平成25年度に耐震補強設計及び実施設計、平成26年度以降改修工事といったスケジュールで事業



建設当時の別府市公会堂（中央公民館）

実施に向けて各課と協議していきたい。

その後の南部振興の 進捗状況は

市民みんなの会
国実 久夫 議員

問 松原住宅1階の活用策や、旧南小学校跡地についての活用策がなかなか提案されない状況であるが、その後、進捗があったのか伺いたい。

答 現在のところ南部振興に寄与でき、恒久的に活用できるような利用計画は出ていません。今後も引き続き地元住民の方々の交流や賑わいの場所としての活用など、幅広い考え方で南部地区が少しでも活気づけるような方策を関係各課と協議したいと考えています。

問 南部地区の活性化を考えたとき、残る旧南小学校体育館はどうするのか。解体するか残すのか。また跡地に何を建てるのが良いのか。アンケートを取るのにも必要ではないか。



信託契約が終了する南部振興開発ビル

答 教育委員会といたしましては、旧南小学校の跡地については、今後、南部振興の発展につながる可能性を持った価値ある場所であると認識しています。これまで、南小学校地として長きにわたって別府の教育を支えた場所でもあり、南地区の方々が集うコミュニケーションの場でもありました。今後「防災」「まちづくり」「健康づくり」さまざまな面から、活用方法を協議するとともに、議員ご提案のアンケートも視野に入れながら、今後検討する必要がありますと認識しています。

問 南部振興開発ビルの信託契約が平成24年3月末を

もって終了し、公共棟の年間賃借料1億円相当が不要となる。その半分でもよいから南部振興のために投資して欲しいがいかがか。

答 議員の提案をふまえて、考えていきたいと思っております。

なぜ、公務員だけ 優遇するのか

行財政改革クラブ
泉 武弘 議員

問 自治会が高齢者の増加などで厳しい運営が続いている。宮崎市等は、行政が自治会や公民館活動に財政支援をしている。災害対策や高齢者問題は行政だけでは対応できない。地域社会を守るために自治会等に財政支援をすべきではないか。

答 自治会と支援方法を協議し支援の方向で検討していきたい。

問 公務員は退職後も、社会福祉協議会、シルバー人材センター、総合振興センター、観光協会等に再就職し優遇されている。社会福

祉協議会に年間2千万円を超える補助金を出しているのに、月額20万円を超える給料でOBが2名働いている。一方、遺族から涙も乾かないうちに、香典返しで年間1490万円の芳志が社協の財源になっている。財源と一緒に退職公務員を派遣するのを止めたらどうか。

答 永年の財政経験や識見を団体の要望により推薦しています。

問 職員厚生会に公費1180万円を出し、職員のスポート大会補助40万円、社会活動貢献活動助成11万円、健康増進助成315万円を使っている。庁舎内には厚生会や労働組合が自動販売機を設置し、年間215万円の収入を得ている。職員のポランティア活動にも手当を出している。一方、市民は受診回数を減らし、子どものスポーツ大会参加のためバザー等で財源を確保している。また、各種行事など無償ボランティアで働いている。なぜ、公務員だけ優遇するのか、市民の理解を得ることができない事業は廃止するべきだ。

答 職員厚生会とは現在協議中です。

プレミアム建設券について

公明党

六井 宏二 議員

問 最近、記録的な大雪や台風などの災害により被害が出て、除雪や土砂の除去などの復旧作業に時間がかかり、住民生活に影響が出る災害対応空白地帯が生まれていると言われています。これは、近年の不況により建設業に従事する方々が激減しているのが原因であるとされている。建設業の地域に対する安心・安全、また災害対応力の維持向上は急務であると思う。そこで現在の別府の景況感、また、建設業の景況感はどうなっているか。

答 すべての業種において大震災の影響で入荷遅れや価格の上昇によりマイナスの影響があり、売上げが増えないとの声が多い。建設業につきましても、同業者間の競争の激化等により今後の見通しも更に厳しくな

るとの危惧感を感じているようです。

問 別府市内の建設業の事業所数、従業員数の推移はどうなっているのか。

答 この10年間で事業所数は128、従業員数で1346人の減少となっています。

問 建設業の災害対応力は目を見張るものがあり、地域の経済へ波及効果、また雇用への支えへの効果は大きいものがある。愛知県安城市では10パーセントのプレミアムをつけた建設券を発行し、早期に完売したとお聞きした。新築、増改築リフォーム等幅広い業者の方に波及効果があり別府市でも是非取り組んでもらいたい。

答 経済効果があることは十分認識しておりますので、今後検討させていただきます。



平成23年 議会活動状況 (平成23年1月~12月)

●本会議及び議決件数

区分		会期日数	傍聴者数	提出議案
定例会	第1回(3月)	21日	139人	44件
	第2回(6月)	19日	56人	25件
	第3回(9月)	17日	131人	29件
	第4回(12月)	15日	39人	27件
臨時会	第1回(5/13)	1日	5人	1件
	第2回(5/16)	1日	1人	1件

この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

お願い

◎政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産のお祝いや各種会合への祝儀など寄附をすることは禁止されています。

◎政治家に寄附を勧誘・要求することは禁止されています。

●常任・特別委員会

区分	開催日数	付託件数※
総務文教委員会	6日	45件
観光経済委員会	6日	14件
厚生消防委員会	6日	21件
建設水道委員会	6日	22件
決算特別委員会	5日	1件
議会運営委員会	14日	-件
会派代表者会議	4日	-件
全員協議会	0日	-件
議会報・ホームページ委員	7日	-件
行財政・議会改革等推進特別委員会	3日	-件

※付託とは、議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立ち詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会等に審査をゆだねることを言います。

なお、付託される事件は、議案、請願、意見書決議など、議決を要するものとされています。

子ども市議会について

趣 旨

各小中学校の代表者が議員となって自分たちの住んでいる別府の諸問題、未来について、自ら課題を見つけ、自ら考え、模擬市議会を体験することにより、市議会の重要性和ふるさと別府を愛することの大切さを学ぶとともに、子どもたちから出された真摯な提案や課題などを今後の市政運営に活用するため開会するものです。

参加者

- ◎子ども議員 各小学校高学年の代表者 (15名)
各中学校の代表者 (8名)
- ◎執行部 市長・副市長・教育長・水道局長・各部長
- ◎その他 議長・副議長・子ども会を支える議員連盟議員・市子連会長・市P連会長・関係者

内 容

- ◎子ども議員の中から選出された議長、副議長が議事を進行する。
- ◎子ども議員が市執行部（市長ほか）に質問し、答弁を求める（一般質問）。
- ◎子ども議員が市に対して提言を行なう。
- ◎「子ども宣言」を採択する。



「つながりを大切にする町 別府」子ども宣言

私たちは、今日、ふるさと「別府」の未来について考えました。今年は、東日本大震災もおこり、これまで以上に人と人との結びつき「絆」の大切さを実感させられた1年でした。

多くの人々のつながり、支え合いの中で、私たちのふるさと「別府」が成り立っていると思います。今日この場に集まった仲間とのつながりを深め、これまで以上に、みんなに愛されるまちづくりにかかわっていききたいと思うようになりました。

別府は全国に誇れる温泉や地獄、伝統工芸竹細工という素晴らしい観光や伝統がある。このような自慢できる別府特有の財産を私たちに限らず、さまざまな人たちに知ってもらい、観光客あふれる「別府」をつくっていかうと思います。

そのため、別府の発展に協力できるように、私たちにもできる、次の4点を約束し、実行していくことを誓います。

- 1 この度の東日本大震災に遭われた方々のひたむきに生きる姿、また、支援する方々のあたたかい心に学び、思いやりと感謝の気持ちをもって人としてのよりよい生き方を求めていきます。
- 2 別府の魅力についてしっかり学び、その魅力を日本国内だけでなく、世界に向けて発信し、別府を訪れる方々を輝く笑顔と明るいあいさつでお迎えます。
- 3 「美しいふるさと別府」のまちづくりのために、ゴミの分別やりサイクルなど、身近にできることから積極的に取り組んでいきます。
- 4 年齢、性別、人種に関係なく、全ての命を尊重し、互いに助け合いながらあたたかい毎日をつくっていきます。

以上のことを宣言いたします。

平成23年12月27日 べっぴ子ども市議会

第9回「子ども市議会」提言

- 1 別府市の観光の発展はうれしいことですが、観光客が増えることによって自然が破壊される心配があります。そこで、今後も自然を守って発展してほしいと思います。
- 2 市民全員が、清掃のボランティア活動に積極的に参加すれば、きれいで住みよい別府市になると思う。
- 3 温泉の廃熱を利用した発電を行い、電力の有効利用をおこなう。
- 4 観光がより盛んになるためには、まずは別府市民が別府のよさを実感することが大切です。ぜひ、温泉館を中心にした別府市民が集える施設を建設してほしいと願っています。

第9回
べっふ
子ども市議会
スナップ集



議長



大野 康晴 議員
(東山中学校 2年)

副議長



有田 理紗 議員
(山の手中学校 2年)

一般質問



山平 りか 議員
(石垣小学校 6年)



土井 和也 議員
(上人小学校 6年)



堀口 未来 議員
(亀川小学校 6年)



野田 亜美 議員
(南小学校 6年)



加藤 喜一郎 議員
(朝日小学校 6年)



首藤 進吾 議員
(南立石小学校 6年)



興梠 亜実 議員
(大平山小学校 6年)



大野 真生 議員
(東山小学校 6年)



廣岡 有紗 議員
(西小学校 6年)



中島 光樹 議員
(鶴見小学校 6年)



加藤 美月 議員
(緑丘小学校 6年)



工藤 みのり 議員
(別府中央小学校 6年)



早川 季成 議員
(境川小学校 6年)



北村 俊輔 議員
(青山小学校 6年)



花澤 絢介 議員
(春木川小学校 6年)

提言



増田 尚輝 議員
(鶴見台中学校 2年)



秦 将也 議員
(朝日中学校 2年)



鳥居 瞳綺 議員
(中部中学校 2年)



山村 莉歩 議員
(青山中学校 1年)

子ども宣言



櫻木 美由紀 議員
(北部中学校 2年)

謝辞



安東 杏佳 議員
(浜脇中学校 2年)

